

10月21日中間考査最終日、考査終了後体育館に全校生を集めて避難訓練についての話をしました(写真左)。HRで担

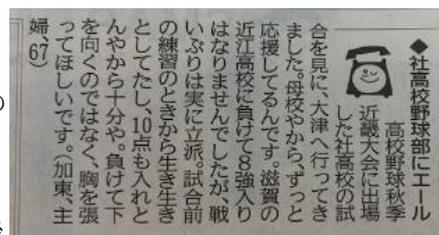


任から経路等の説明があり、実際にはグラウンドに避難ということでしたが、時間短縮並びに新しいALTの先生の着任式もあるということで体育館を集合場所にしました。校内の緊急放送にて出火による避難の合図があり、全学年が体育館に集合しました。私からは、避難につ

いての話の中で、合宿、修学旅行等宿泊を伴う場合の避難経路の確認を習慣化してほしいということ、通学路等をよく観察して、水たまりや水の流れが悪い所などを確認することが、私たちが普段できることだと話しました。丹波市の土砂災害でボランティアに行った際に家の横を流れる水路に木々がたまったり、土砂が詰まったりして溢れた水が浸水した状況を見ていたので、身近なところを観察する習慣を身に付けておくことで被害を小さくできるということを皆さんに伝えたかったのです。また、引き続き、基礎基本を大切にという話もしました。うまくいかなかったり、調子が悪くなったりしたときに確認する、戻る場所をしっかりと作っておくことが大切だという話です。これは阪神淡路大震災の時に体育の授業を校内でする場所がなく、ボウリング場とかゴルフ場ですることになり、ゴルフのレッスンを私が受けに行ったときに「我流は戻る場所がないでしょ、理論を分かっていると崩れたときに戻れない」という話を指導員から聞き、なるほどと思ったことがきっかけです。「理論が理解できていないと調子よくいっているときはたまたまタイミングが合っているだけで、そのタイミングがずれてくると、どこをどうすればよいかわからなくなり、修正が効かなくなるので理論と基礎基本は大事ですよ」ということだと思います。ちょっとかじったことがあれば「これか、わかっているわ」と大事なことを聞き逃したり、聞かなかったりすることはよくあります。そんな時こそ大事なことを確認するという気持ちでやってほしいと思います。そして、避難訓練など行事も何が求められているのか、どう動くべきかをしっかりと考えておくことが本当に災害や火事が起こった時に活かされると思います。社高校周辺はそういった災害の非常に少ないところで住みやすいのですが、いざという時のための準備はしておきましょう。

全校集会後には、新しく来られたALTの着任式をしました(写真右)。ディラン・オコネル先生です。本来は昨年8月に来られる予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大による影響で来日できず、先月中旬に来日され、隔離期間を経てようやく本校に着任となりました。1学期には非常勤でマシュー先生に来ていただきましたが、ディラン先生がこの中間考査後から皆さんと一緒に英語の授業をすることになります。ディラン先生は、アメリカから来られ、映画の研究論文を出されるなど映画やゲームそして日本がとても気に入っているようです。叔父が日本でALTをしていたり、父が横浜で留学していたりと日本にも関わりがあり、2回ほど日本への旅行も経験され、来日を楽しみにしておられたそうです。どうぞよろしくお願ひします。

10月22日神戸新聞イミミ欄に「社高校野球部にエール」と投稿された記事を見つけました。ずっと応援していただいている上に先日の近畿大会の応援に大津まで来ていただいたそうで、とてもありがたいお話に心がホクホクと温かくなりました。同時に関心を持っていただいていることに私たちも気を引き締めて生徒指導にあたらねばならないと職員にも話をしたところでした。今後とも温かく見守っていただきますようよろしくお願ひ申し上げます。



10月31日には衆議院選挙が行われることになりました。18歳以上には選挙権がありますので、11月1日までに誕生日を迎えることになる3年生も選挙権があります。私たち教員は公務員のため特定の政党を応援するような発言はできません。選挙権の意義を説明し、行使することを働きかけることしかできません。生徒にとっても選挙運動への参加には制限があります(校内で活動できない等)。そのことを踏まえたうえで、選挙権を行使しましょう。

2学期も半ばが過ぎ、先週は汗ばむ陽気であったのが、今週は一転して寒気が入ってきて肌寒く感じるようになってきました。季節が一気に進んだ感じがしますが、体調管理にはくれぐれも気を付けましょう。また、緊急事態宣言の解除や新規感染者の減少に伴い、いろいろな制限も解除され、活動時間、活動場所が広がりました。今一度自分でできる感染防止対策を確認し、継続していってほしいと思います。よろしくお願ひします。